

1. 開催概要

- 目的：登録団体間の交流を深めるとともに、登録団体の取組発表や意見交換を通じて各団体の活動の促進に繋げる。
- 日程：令和5年2月28日（火）WEB開催
※前回開催日は令和3年2月17日
- 開催方法：oVice（バーチャルオフィスツール）を使用
- 参加団体：ネットワーク登録34団体、建設業団体、国土交通省、（一財）建設業振興基金
- 参加人数：69人

2. 実施内容

○開会挨拶 国土交通省 不動産・建設経済局長 長橋 和久 様

→以下要旨

女性が活躍しやすい環境を整えることで、効率的で快適な職場環境の整備が進み、建設産業が性別・世代問わずさらに魅力的な産業となり、担い手確保に向けた原動力となると考えられる。業界の慣習を変えていくには全国でその機運を高める必要があるため、本大会のような各地の団体間の交流をはじめとした「建設産業女性定着支援ネットワーク」の取組みを通じて、建設産業をより魅力的な産業にしていきたい。

○第一部

(1) 建設産業女性定着支援ネットワークの取組み状況

→事務局より説明。CCUSを活用した女性の就業継続についても紹介。

(2) 登録団体の取組紹介

→以下団体から、取組についての紹介。

① (一社) 土木技術者女性の会、(一社) 茨城県建設業協会 建女ひばり会の連携

② 建設ディレクターネットワーク

(3) グループ意見交換会

→参加団体を6つのグループに分け、以下テーマに沿って意見交換を実施。

<テーマ>

将来の建設産業を担う次世代の人材を確保するための、若者への情報発信について

○閉会挨拶 建設産業女性定着支援ネットワーク 幹事長 須田 久美子 様

○第二部

(1) 懇親会

→バーチャルの会場内において、各団体がアバターを自由に動かして他団体と交流。

3. グループ意見交換会における各団体からの声

<テーマ>

将来の建設産業を担う次世代の人材を確保するための、若者への情報発信について

若者への情報発信について取り組んでいること、今後取り組んでみたいこと、苦労していること等について話し合った結果、以下のような声がありました。

<取組事例>

- ・ 商業施設を借りて、子供たちに重機ラジコンを使用したお菓子のつかみ取りやレゴブロックで町を作る体験をしてもらうイベントを実施。
- ・ 図書館で子供向けに建設関係の本の読み聞かせを実施。図書館には保護者もいるので、子供だけでなくその保護者に対しても建設業の魅力を発信できた。

<今後取り組みたいこと、課題など>

- ・ 次世代育成を行うに当たっては、工学系、理工学系、工業高校等の学生にターゲットを絞らず、今後は文系の学生にもアプローチをしていきたい。
- ・ 団体ごとに強みと弱みがあるので、他団体と連携して若者への情報発信に取り組んでいきたい。
- ・ 若者向けのイベントを企画しても、中々人が集まらず集客に苦労しているので、他団体の活動を参考にしたい。